

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	300	3.利用用途別分類	庁舎等施設		
2.施設名	宮崎市住吉地域センター	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	島之内7409-1	15.設置根拠法令	地方自治法		
6.バス停	日大高校前(210m)	16.設置条例	宮崎市の地域自治区の設置等に関する条例		
7.開設年月日	昭和56年7月30日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	第一種住居地域		19. 内部		
11.財産区分	公用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	住吉地域の市民に行政サービスを提供する拠点として設置している。昭和56年建築の建物で職員14人が勤務している。平成21年度に屋上防水改修を行っている。				
13.主な利用者	市民及び市職員		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m	
14.利用者駐車可能台数	12台		21.投票所の指定	有	
22. 土地情報	土地面積	998.00 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		—	前年比%	—	前年比%
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
24. 建物情報	総延床面積	312.40 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	56205千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1981年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	78,623	96.3	81,636	—
	施設のコスト	1,623	59.3	2,736	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	77,000	97.6	78,900	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	78,623	96.3	81,636	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	264	18.8	1,404	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	78,623	96.3	81,636	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	管財課		33.施設主管課	管財課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	300	3.利用用途別分類	庁舎等施設
2.施設名	宮崎市住吉地域センター	4.利用圏域別分類	地域

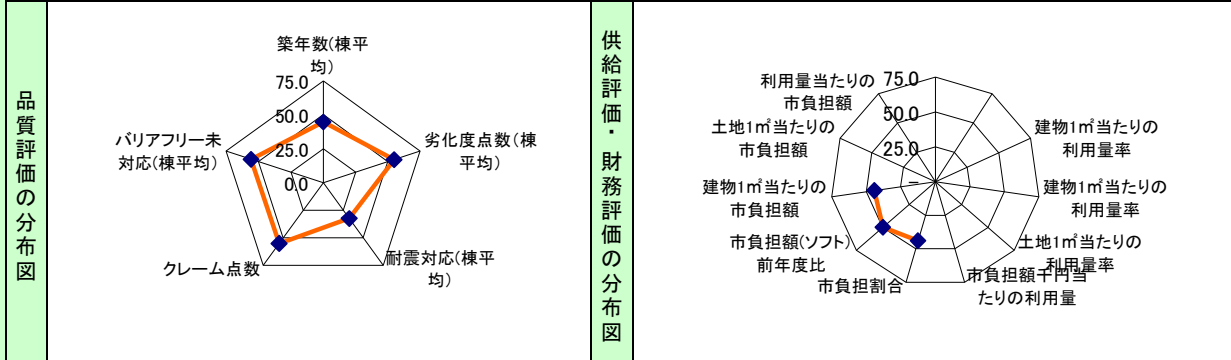
5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	D
	品質評価の評価(偏差値)	48.6
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	45.9

① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	37.300 年	44.7	30.600 年
		劣化度数(棟平均)	0.600 件	54.8	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	3.800 点	32.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値		48.6	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量			
		評価値		-	

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.000 %	44.0	95.611 %
		市負担額(ソフト)前年度比	97.700 %	49.7	96.970 %
		建物1㎡当たりの市負担額	251.674 千円	44.1	168.048 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額			
		評価値		45.9	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

(2) 施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	300	利用用途別分類	庁舎等施設
施設名	宮崎市住吉地域センター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	住吉地域センターは昭和56年建築である。住吉地域における宮崎市の公共サービスを提供するために必要な施設であり重要な建物である。そのような特性から利益を求めるとは限界があると分析する。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】築年数【原因】昭和56年建築でRC造躯体の耐用年数が50年から60年とされているためである。 ②【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断対象外施設となっているため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】公民館や体育施設などとは施設の設置目的が異なり、市行政サービスの提供のため市負担額の評価が低くなっている。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)【原因】建物の老朽化に伴い、施設内部の修繕が増額となった。 ③【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】市役所は公共サービスを提供する関係でコスト高につながっている。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	住吉地域センターは住吉地区の必要な行政サービスを提供している。その他の地域センターも各地区に必要な行政サービスを提供している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	住吉水防倉庫、住吉地区社会福祉協議会事務所、宮崎市住吉公民館、住吉公園、永池1号街区公園・永池2号街区公園、宮崎市住吉児童センター、宮崎市消防団住吉分団第6部消防団車庫、住吉中学校、住吉中学校(給食室)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、住吉小学校(給食室)、住吉小学校	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	防災支援拠点として位置付けられており、災害時には地域の防災拠点となる。	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線から約200m東に位置し、バス停もあり交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建替えの時期】2060年～2080年代 【建替えの事業費(概算)】1.2億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	今後、公民館等との複合化計画の案も出ているため、必要な維持修繕を行う。	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	300	利用用途別分類	庁舎等施設
施設名	宮崎市住吉地域センター	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は、今後5年程度は大規模改修を予定していないため「継続」とする。また、機能評価(案)は地域の行政サービス継続のため「継続」とする。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	必要な維持修繕を行いながら、庁舎の老朽化の進行の抑制をしている。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	今後庁舎をいつまで使用するのを見極めた改修工事の計画を策定していく。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質は平均点以下であるが、地域の市行政サービスの中心である住吉地域センターは庁舎の長寿命化をすすめながら継続利用をし、財産の利活用を進めていく。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	適正な執務空間の確保に努めながら、庁舎内の無駄な電気を使用しないように更なる節電に努めていく計画である。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	8950	3.利用用途別分類	集会施設							
2.施設名	宮崎市住吉公民館	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	島之内7410-1	15.設置根拠法令	社会教育法							
6.バス停	日大高校前(250m)	16.設置条例	宮崎市公民館条例							
7.開設年月日	昭和52年4月1日	17.市の計画	運営開始が定まっている改築計画が存在する							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 							
9.指定管理期間										
10.用途地域	第二種住居地域									
11.財産区分	公共用	19. 内部	 							
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、設置しており、地域の生涯学習の場及び地域まちづくりや災害時の拠点として活用されている。しかし、エレベーターがない2階建ての建物であり、バリアフリー対策が不完全である。経年劣化も見られるため、「宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画」に基づき、今後、整備(建替え等)も含めて適切な維持管理に取り組む。									
13.主な利用者	地域住民	20.避難所の指定(標高)	指定避難所 9.80 m							
14.利用者駐車可能台数	22台	21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	2,014.13 m ²		24. 建物情報	総延床面積	800.03 m ²				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	82100千円 (-)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1977年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	20,278	138.8	14,606	-	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	347	153.5	226	-	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用率	58	90.4	65	-	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	147	233.3	63	-	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	16,056	110.7	14,510	-
	使用料(減免後)②	96	533.3	18	-	施設のコスト	9,650	115.3	8,367	-
	その他③	51	113.3	45	-	事業のコスト	706	159.4	443	-
	《参考》 使用料減免額④	1,966	97.9	2,008	-	人に係るコスト	5,700	100.0	5,700	-
	指定管理者の収入計⑤	0	-	0	-	指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	指定管理料⑥	0	-	0	-	施設のコスト	0	-	0	-
	利用料金収入	0	-	0	-	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業収入	0	-	0	-	自主事業のコスト	0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	人に係るコスト	0	-	0	-	
収入合計⑦	147	233.3	63	-	支出合計⑩	16,056	110.7	14,510	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	95	96.2	99	-	28.工事請負費・修繕費	1,878	403.9	465	-	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	147	233.3	63	-	31.市 負担 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	15,909	110.1	14,447	-	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	-	0	-	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	99	99.5	100	-	
32.施設所管課	地域コミュニティ課			33.施設主管課	地域コミュニティ課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8950	3.利用用途別分類	集会施設
2.施設名	宮崎市住吉公民館	4.利用圏域別分類	地域

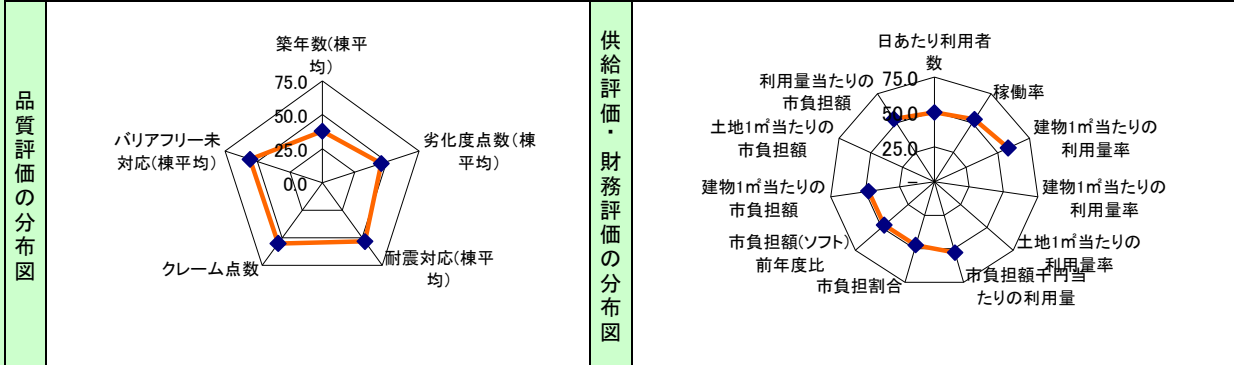
5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	B
	品質評価の評価(偏差値)	49.6
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	51.3

① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	46.000 年	37.9	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	2.500 件	45.7	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値		49.6	

② 供給評価 利用量率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	58.000 人	49.7	61.000 人
		稼働率	29.800 %	53.2	25.400 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.073 人	58.2	0.050 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	1.275	52.9	1.071
評価値		53.5			

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.080 %	47.3	97.737 %
		市負担額(ソフト)前年度比	100.400 %	47.5	97.555 %
		建物1㎡当たりの市負担額	19.886 千円	47.7	17.701 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.785 千円	53.5	2.012 千円
		評価値		49.0	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	8950	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市住吉公民館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価と財務評価については平均点未満となっているが、供給評価は平均点以上である	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】建築後46年経過 【評価指標】劣化度数(棟平均) 【原因】建物内・外部にひび割れ等の劣化が見られる	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】日あたり利用者数 【原因】料理実習室の利用者数が少ないため	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】施設の使用料を徴収しているものの、減免団体や使用料単価が低い 【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比 【原因】電気料金値上げによりコストが上がったため 【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】施設の使用料を徴収しているものの、減免団体や使用料 単価が低い	
5	定性的な要素の分 析(総括)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、公立公民館等を設置している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	住吉水防倉庫、宮崎市住吉地域センター、住吉地区社会福祉協議会事務所、住吉公園、永池1号街区公 園、永池2号街区公園、宮崎市住吉児童センター、宮崎市消防団住吉分団第6部消防団車庫、住吉中 学校、住吉中学校(給食室)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、住吉小学校(給食室)、住吉小 学校	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市住吉老人いこいの家	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道から近く、住吉地域センターと同一敷地内にあり、バス停も250mの場所に設置されているなど交通事 情は良好である	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】3.6億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	8950	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市住吉公民館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「改修・更新」、機能の評価(案)は「継続」とする 「総量の最適化」の取り組みとして、「宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画」に基づき、建替えの検討を進めるとともに、市負担額を削減するため、市負担額を削減するため、使用料や減免対象の見直しを行う	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	改修・更新	
16	建物の評価(案)の理由	築年数、劣化度の評価が低く、施設の経年劣化が顕著であるため、建物の評価は改修・更新とする	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	施設の経年劣化が顕著であることから、今後も施設を適切に維持管理していくためには、修繕等を行うより費用が削減できる改修・更新を行う	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	稼働率の評価が平均点以上であり、生涯学習及び地域活動の拠点としての役割に加え、地域のまちづくりの拠点として利用されているため、機能の評価は継続とする	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	宮崎市公共施設等総合管理計画に基づき、「持続可能な、最適な公共施設サービスの提供」を実現するため、「宮崎市公共施設使用料設定基準」を踏まえた施設の使用料や減免対象の見直しを行う	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	3800	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	住吉地区社会福祉協議会事務所	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	島之内7409-1	15.設置根拠法令			
6.バス停	日大高校前(210m)	16.設置条例			
7.開設年月日	平成13年10月3日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	第一種住居地域		19. 内部		
11.財産区分	公用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	地域の実情に応じた地域福祉活動を推進するため、地域に身近な福祉拠点として、地域福祉ニーズの把握、住民への福祉啓発、地域ボランティアの育成などを展開する住吉地区社会福祉協議会(任意団体)の活動を支援するために設置した施設。同協議会に行政財産の目的外使用により使用を認めている。				
13.主な利用者	住吉地区社会福祉協議会の役員及び事務局員並びに住吉地区の住民	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m		
14.利用者駐車可能台数	5台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	32.40 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		—	前年比%	—	前年比%
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
24. 建物情報	総延床面積	32.40 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	7192千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・LG・軽量鉄骨			
	建築年(主たる建物)	2001年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
使用料(減免後)②	0	—	0	—	
	0	—	0	—	
《参考》 使用料減免額④	131	—	0	—	
指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	
指定管理料⑥	0	—	0	—	
利用料金収入	0	—	0	—	
自主事業収入	0	—	0	—	
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	100	—	—	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	750	100.0	750	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
施設のコスト	0	—	0	—	
自主事業以外のコスト	0	—	0	—	
自主事業のコスト	0	—	0	—	
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	750	100.0	750	—	
28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	750	100.0	750	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	福祉総務課	33.施設主管課	福祉総務課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3800	3.利用用途別分類	その他施設
2.施設名	住吉地区社会福祉協議会事務所	4.利用圏域別分類	広域・市域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上		C			
	B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上					
	C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満					
	D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満					
	品質評価の評価(偏差値)		54.3			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		49.4			
① 品質評価	バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	21.000 年	57.5	30.600 年
			劣化度数(棟平均)	0.000 件	57.6	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	47.5	0.700 件
			評価値		54.3	
② 供給評価		指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
			建物1㎡当たりの利用量率		人	人
			建物1㎡当たりの利用量率		台	台
			土地1㎡当たりの利用量率		人	人
			市負担額千円当たりの利用量			
			評価値		-	
			③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標
市負担割合	100.000 %	45.5				78.881 %
市負担額(ソフト)前年度比	100.000 %	50.2				100.319 %
建物1㎡当たりの市負担額	23.148 千円	52.6				65.585 千円
土地1㎡当たりの市負担額						千円
利用量当たりの市負担額						千円
評価値		49.4				
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3800	利用用途別分類	その他施設
施設名	住吉地区社会福祉協議会事務所	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価においては、バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低いが、築年数、劣化度数やクレーム点数が高く評価されたため平均点以上の評価となっている。 一方で、財務評価においては建物1㎡当たりの市の負担額の評価が高いが、使用料などの収入がなく市負担割合の評価は低いため平均点以下の評価となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均)【原因】同利用用途・利用圏域施設のバリアフリー化が進んだため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】地区社会福祉協議会は地域の実情に応じた地域福祉活動を推進するため、地域に身近な福祉拠点として、地域住民の福祉向上に資する公共性又は公益性の高い事業を実施していることから、宮崎市行政財産使用料条例第5条第4号「市長が特別の理由があると認めるとき」により、使用料を免除しており、収入がないため。	
5	定性的な要素の分析 (総括)	各地域の実情に応じた地域福祉活動を推進するための拠点であり、住吉地区内には本施設以外に同様の施設はない。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	宮崎市住吉地域センター、住吉水防倉庫、宮崎市住吉公民館、住吉公園、永池1号・2号街区公園、宮崎市住吉児童センター、宮崎市消防団住吉分団第6部消防団車庫、住吉中学校、児童クラブ(住吉小学校)、住吉小学校	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用途 別分類が同じ)施設 の有無。有の場合 は施設名	宮崎市職業訓練センター、宮崎みたま園、田野駅前広場のほか51施設	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線から島之内の交差点を約200メートル東進したところに位置し、自家用車での交通事情は良好だが、バス停留所までは約10分ほど要する。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.2億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査での指摘は特になし。住吉地区社会福祉協議会は、地域の困りごとなどの相談や見守りが必要な住民についての情報交換会など、住吉地区の実情に合わせた地域福祉活動の核となっている。また、地域住民が気軽に立ち寄ることも可能で、地域に密着した地域福祉活動拠点となっている。	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3800	利用用途別分類	その他施設
施設名	住吉地区社会福祉協議会事務所	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)、機能の評価(案)ともに継続とする。引き続き、住吉地区の地域福祉活動の拠点としての役割を担いながら、施設の長寿命化に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	市負担割合の評価は低いが、住吉地区の地域福祉活動の拠点となりうる施設は他にないため、本施設の機能を継続とする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	今後、近隣の市の公共施設の再編に注視し、集約化を検討する。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	市負担割合の評価は低いが、住吉地区の地域福祉活動の拠点となりうる施設は他にないため、本施設の機能を継続とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	他の地区社会福祉協議会との公正性を図るため、住吉地区社会福祉協議会のみ使用料を徴収し、市の負担分に充てることはできない。よって市負担額の削減が難しいが、時間外・休憩中に消灯するなど、可能な限り光熱水費を削減できるよう努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	3840	3.利用用途別分類	集会施設							
2.施設名	宮崎市住吉老人いこいの家	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	広原1066	15.設置根拠法令	老人憩の家設置運営要綱							
6.バス停	住吉(1950m)	16.設置条例	宮崎市老人いこいの家条例							
7.開設年月日	昭和52年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する							
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(社会福祉法人 宮崎市社会福祉事業団)	18. 外観	 							
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日									
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公共用	19. 内部	 							
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	高齢者に対し教養の向上、レクリエーション等のための健全ないこいの場を与え、もって心身の健康の増進を図ることを目的とした施設である。高齢者の健康増進や外出促進、介護予防、生きがいづくりを支援するため、健康相談や趣味活動に気軽に参加できる交流の場を提供している。									
13.主な利用者	本市に住所を有する60歳以上の者及びその介助者	20.避難所の指定(標高)	— 10.40 m							
14.利用者駐車可能台数	30台	21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	2,863.59 m ²		24. 建物情報	総延床面積	285.69 m ²				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	15480千円 (—)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・W・木造				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1977年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	3,657	144.5	2,530	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	260	155.7	167	—	耐震対応(主たる建物)	—			
利用率	14	93.4	15	—	未利用スペース	23 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	819	86.8	944	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト	69	35.6	194	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	6,031	89.2	6,763	—	指定管理者の支出計⑨	5,591	104.9	5,330	—
	指定管理料⑥	6,031	89.2	6,763	—	施設のコスト	911	83.0	1,098	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	1,627	264.1	616	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	3,053	84.4	3,616	—	
収入合計⑦	6,031	89.2	6,763	—	支出合計⑩	6,410	102.2	6,274	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	194	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	31.市 負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	6,850	88.9	7,707	—
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	440	30.7	1,433	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	107	87.0	123	—	
32.施設所管課	福祉総務課		33.施設主管課	福祉総務課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3840	3.利用用途別分類	集会施設
2.施設名	宮崎市住吉老人いこいの家	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満			D		
	品質評価の評価(偏差値)			36.7		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)			45.1		
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度数(棟平均)の評価がきわめて低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	46.000 年	37.9	30.600 年	
		劣化度数(棟平均)	7.000 件	24.3	1.600 件	
		耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.4	4.800 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	47.5	0.700 件	
		評価値			36.7	
② 供給評価 利用率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均	
		日あたり利用者数	14.000 人	42.6	61.000 人	
		稼働率		%		%
		建物1㎡当たりの利用率	0.049 人	49.8	0.050 人	
		建物1㎡当たりの利用率		台		台
		土地1㎡当たりの利用率		人		人
		市負担額千円当たりの利用率	0.534	42.5	1.071	
		評価値			45.0	
③ 財務評価 市負担割合の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均	
		市負担割合	106.860 %	31.3	97.737 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	91.200 %	55.5	97.555 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	23.977 千円	43.5	17.701 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額		千円		千円
		利用量当たりの市負担額	1.873 千円	50.4	2.012 千円	
		評価値			45.2	
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3840	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市住吉老人いこいの家	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	昭和52年に開設された施設のため、老朽化により品質評価が低い。また、年齢制限に加えて小規模であるため供給評価が低い。受益者負担がないことから財務評価も低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数 【原因】昭和52年に開設され、46年が経過しているため。 ②【評価指標】劣化度点数 【原因】老朽化による経年劣化が多数あるため。 ③【評価指標】耐震対応 【原因】耐震未対応のため。 ④【評価指標】バリアフリー未対応 【原因】車いす使用者用駐車スペースが設けられていないため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】利用率 【原因】年齢制限がある上、比較的小規模であるため。 ②【評価指標】建物1㎡当たりの利用率 【原因】同上。 ③【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】同上。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】受益者負担がないため。 ②【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】老朽化による設備修繕費負担のため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	利用用途は集会施設だが、年齢制限があり、高齢者の生きがい支援としての役割を担っている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市広原児童プール、宮崎市広原体育館、下之園農村公園、宮崎市消防団住吉分団第3部消防団車庫、萩の台公園、萩の台污水处理施設	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市住吉公民館	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道219号線から市道次郎ヶ別府広原線を400m程度西進した位置にあり、バス停留所はやや離れている。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】1.3億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3840	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市住吉老人いこいの家	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」とし、予防保全型の維持管理により修繕更新費用の削減に努める。機能の評価(案)についても「継続」とし、エネルギー消費の抑制等に取り組むことで市負担額の削減に努める。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	建物の老朽化により品質評価が特に低くなっているが、健康体操やカラオケ等のクラブ活動が行われており、地域の高齢者の交流の場としての役割を担っている。今後も高齢者の外出促進や生きがいづくりを支援していくため、施設を継続する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	「宮崎市老人福祉センター等個別施設計画」に基づいた日常点検を行い、予防保全型の維持管理に努める。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	小規模施設かつ受益者負担がないため供給・財務評価が低くなっているが、建物の評価同様、今後もサービスを提供していくために機能を継続する。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	市負担額である指定管理料については、人件費や役務費、委託料等、維持管理に必要な経費で積算されており、削減の余地は限られている。そのため、サービスの質を低下させない範囲でエネルギー消費量を抑制し、備品購入等は必要最低限にとどめる。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	4290	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	宮崎市住吉児童センター	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	島之内7082-2	15.設置根拠法令	児童福祉法		
6.バス停	住吉(90m)	16.設置条例	宮崎市児童館条例		
7.開設年月日	昭和61年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(NPO法人ドロップインセンター)	18. 外観			
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日				
10.用途地域	第一種住居地域		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	地域の子どもたちや子育て中の親子が自由に来館し、安心して遊べる施設であり、「遊びイベント」、「地域団体等と連携した交流事業」、「子育て交流ひろば」などを行うなど、児童の健全育成に努めている。また、施設内に児童クラブを設置している。築36年を経過しており、内壁などに経年劣化が見られる。				
13.主な利用者	児童(満18歳に満たない者)	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	8.00 m	
14.利用者駐車可能台数	10台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	921.04 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	4,373	158.1	2,766	-
	開館日数	292	128.6	227	-
	利用率	15	123.0	12	-
24. 建物情報	総延床面積	350.70 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	58062千円 (-)			
	階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1986年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		4,474	108.3	4,132	-
使用料(減免後)②		473	96.5	490	-
その他③		4,001	109.9	3,642	-
《参考》 使用料減免額④		176	103.5	170	-
指定管理者の収入計⑤		14,781	88.4	16,718	-
指定管理料⑥		9,494	82.5	11,507	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	-	0	-
その他収入	5,287	101.5	5,211	-	
収入合計⑦	19,255	92.4	20,850	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	27	105.3	26	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	9,761	104.5	9,343	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	6,020	74.2	8,109	-	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,400	79.4	1,763	-
	施設のコスト	650	247.1	263	-
	事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	750	50.0	1,500	-	
指定管理者の支出計⑨	8,761	101.8	8,609	-	
施設のコスト	753	95.0	793	-	
自主事業以外のコスト	1,557	102.4	1,521	-	
自主事業のコスト	0	-	0	-	
人に係るコスト	6,451	102.5	6,295	-	
支出合計⑩	10,161	98.0	10,372	-	
28.工事請負費・修繕費	440	273.3	161	-	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	6,420	70.3	9,138	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	63	71.7	88	-
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4290	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	宮崎市住吉児童センター	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上		C		
	B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上				
	C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満				
	D:平均点未満、供給・財務:平均点未満				
品質評価の評価(偏差値)		52.5			
供給評価・財務評価の評価(偏差値)		47.0			
①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	36.600 年	45.3	30.600 年
		劣化度数(棟平均)	1.000 件	52.9	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値		52.5	
②供給評価 利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	15.000 人	42.0	29.000 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量			
		市負担額千円当たりの利用量	0.681	45.2	3.055
評価値		43.6			
③財務評価 市負担割合の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	63.180 %	46.9	49.116 %
		市負担額(ソフト)前年度比	66.600 %	55.9	105.123 %
		建物1㎡当たりの市負担額	18.306 千円	51.8	73.066 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	1.468 千円	46.5	0.905 千円
		評価値		50.3	
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	4290	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市住吉児童センター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 C】利用者数が少なく、供給評価が低いために、財務評価も低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築36年を経過しており、評価が低い。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】児童数の減少や放課後の生活形態の変化等により、1日あたりの利用者数が平均を下回っている。 【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用料を徴収しない施設である且つ、利用者が少ないために利用量の評価が低い。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】国や県の運営費補助制度がない(国は地方交付税措置化)ため、指定管理料等のほとんどを市の一般財源にて負担している。 【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】利用者数が少ないために、市負担額の評価が低い。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設(児童館・児童センター、地区交流センター)が24施設(概ね中学校区に一つ)整備されている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市住吉地域センター、住吉水防倉庫、宮崎市消防団住吉分団第6部消防団車庫、住吉地区社会福祉協議会事務所、住吉中学校、島之内街区公園、住吉公園、永池1号街区公園、永池2号街区公園、住吉北1号街区公園、児童クラブ(住吉小学校)、宮崎市住吉公民館、住吉中学校	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	住吉南小学校、住吉小学校、住吉中学校、児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、住吉南小学校(給食室)、住吉小学校(給食室)、住吉中学校(給食室)、広原児童プール	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所(地震・風水害)	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線から市道島之内馬出2号線を約50m北進した位置にあり、JR日向住吉駅まで約800m、施設から約90mの場所にバス停(住吉)が設置されている。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2060-2080年代 【建て替えの事業費(概算)】1.4億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では、特に指摘はない。 ○県内に74施設(うち9施設は休止中)、都城市が14施設(うち民設民営1施設)、三股町が9施設(うち2施設は休止中)、延岡市が7施設(うち民設民営5施設)を設置している。 ○中核市では、盛岡市が40施設と最も多く、設置のない市もある。児童館を設置している市の平均は10施設。(令和4年度都市要覧より)	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	4290	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市住吉児童センター	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)を「継続」。機能の評価(案)を「継続」とする。「総量の最適化」の取組として、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。「質の向上」として、市と指定管理者が連携し、施設管理費の削減や事業内容の充実に努める。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。	
16	建物の評価(案)の理由	品質評価において、築年数の評価が低くなっているが、計画的な予防保全型の修繕に努め、長寿命化を図りながら、児童健全育成の拠点として当面は本施設を継続する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	建物及び設備を計画的に保全することにより、修繕更新費の削減に努める。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。	
19	機能の評価(案)の理由	児童健全育成の拠点施設として児童の安心・安全な居場所となっていることに加え、子育て交流ひろばや育児相談等の対応を行うなど地域の子育て支援施設としても機能する重要な施設となっている。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	運営費や指定管理料の見直しを行うなど、市負担額の削減に努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	2920	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市広原体育館	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	広原1085-1	15.設置根拠法令	スポーツ基本法		
6.バス停	広原(500m)	16.設置条例	宮崎市立体育館条例		
7.開設年月日	昭和61年3月31日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮交ビルマネジメント株式会社)	18. 外観			
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日				
10.用途地域	その他		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧萩の台ごみ埋め立て場に関する環境整備の一環として地元住民の要望に応える形で設置された。(バレーボール1面、バドミントン3面)				
					
13.主な利用者	スポーツ団体等	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	10.50 m	
14.利用者駐車可能台数	20台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	1,972.33 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	12,583	120.7	10,423	-
	開館日数	347	100.0	347	-
	利用量率	36	121.0	30	-
24. 建物情報	総延床面積	689.75 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	98140千円 (-)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨			
	建築年(主たる建物)	1986年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		1,426	136.5	1,045	-
使用料(減免後)②		1,376	134.9	1,020	-
その他③		50	200.0	25	-
《参考》 使用料減免額④		4	44.4	9	-
指定管理者の収入計⑤		7,723	112.8	6,848	-
指定管理料⑥		7,723	113.0	6,836	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	-	0	-
その他収入	0	0.0	12	-	
収入合計⑦	9,149	115.9	7,893	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	33.1	1	-	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	1,426	134.9	1,057	-	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 463	132.7	△ 349	-	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,166	75.7	1,540	-
	施設のコスト	416	52.7	790	-
	事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	750	100.0	750	-	
指定管理者の支出計⑨	8,186	113.7	7,197	-	
施設のコスト	2,854	157.2	1,815	-	
自主事業以外のコスト	0	-	0	-	
自主事業のコスト	0	-	0	-	
人に係るコスト	5,332	99.1	5,382	-	
支出合計⑩	9,352	107.0	8,737	-	
28.工事請負費・修繕費	176	22.3	790	-	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	7,463	101.8	7,331	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	80	95.1	84	-
32.施設所管課	スポーツランド推進課	33.施設主管課	スポーツランド推進課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	2920	3.利用用途別分類	スポーツ施設
2.施設名	宮崎市広原体育館	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	D			
	品質評価の評価(偏差値)	46.3			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	48.9			
①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	37.000 年	45.0	30.600 年
		劣化度数(棟平均)	4.000 件	38.6	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	39.2	0.700 件
	評価値			46.3	
②供給評価 利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	36.000 人	44.8	61.000 人
		稼働率	38.400 %	49.8	38.700 %
		建物1㎡当たりの利用率	0.053 人	53.6	0.046 人
		建物1㎡当たりの利用率	台		台
		土地1㎡当たりの利用率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量	1.686	45.3	2.875
	評価値			48.4	
③財務評価 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	79.800 %	55.6	174.468 %
		市負担額(ソフト)前年度比	111.400 %	49.7	110.394 %
		建物1㎡当たりの市負担額	10.820 千円	40.5	7.237 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	0.593 千円	51.5	0.731 千円
	評価値			49.3	
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	2920	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市広原体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から37年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行い、施設の長寿命化に取り組んでいる。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数、築劣化度数【原因】施設建設後37年経過しており、老朽化が進んでいる。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】駐車場、誘導用床材等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】利用率【原因】施設の規模により大規模大会が開催できないため、利用率が低くなっている。 【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】維持管理費に対し、利用率が低い。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】①市負担額(ソフト)前年比②建物1㎡当たりの市負担額 【原因】①光熱水費等の費用が増加したため。②修繕費、光熱水費、施設管理委託料等の維持管理費が必要であるため。	
5	定性的な要素の分析 (総括)	地域に同じ利用用途の施設は無い。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	宮崎市住吉老人いこいの家、宮崎市広原児童プール、宮崎市消防団住吉分団第3部消防団車庫、萩の台公園、萩の台汚水処理施設、下之園農村公園。	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用途 別分類が同じ)施設 の有無。有の場合 は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道219号線広原交差点を西へ450m進んだ位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(佐土原) 【現在の人口】32,660人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】2.1億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	旧萩の台ごみ埋め立て場に関する環境整備の一環として地元住民の要望に応える形で設置された。	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	2920	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市広原体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとしては、指定管理者と連携し、使用者にとって良好な施設サービスが提供できるよう維持管理に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が37年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から施設修繕を適切な時期に必要な応じて行い、施設の長寿命化を図る。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、計画的な施設修繕を実施し、大規模改修で施設が使用できない状態を避けるよう取り組む。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	4740	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	住吉南小学校	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	芳士1811	15.設置根拠法令	学校教育法、小学校設置基準		
6.バス停	蓮ヶ池(720m)	16.設置条例	宮崎市立学校条例		
7.開設年月日	昭和56年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	昭和56年設置。校舎等は、主に昭和56年建築の鉄筋コンクリート造3階建である。屋内運動場は、昭和57年建築の鉄骨造平屋建で老朽化が進んでいる。当校は災害時の避難所に指定されている。通学区域には民間によって分譲された住宅団地、公営住宅が複数集まる団地、田畑が広がる地域がある。近年の児童数は減少傾向にある。				
13.主な利用者	児童	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	13.90 m	
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	24,596.81 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人	前年比%	人	前年比%
	生徒数	540	93.3	579	-
	利用率	-	-	-	-
24. 建物情報	総延床面積	5,634.12 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	- (-)			
	階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1981年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		176	79.3	222	-
使用料(減免後)②		1	-	0	-
その他③		175	78.8	222	-
《参考》 使用料減免額④		0	-	0	-
指定管理者の収入計⑤		0	-	0	-
指定管理料⑥		0	-	0	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	176	79.3	222	-	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	49,222	105.7	46,585	-
	施設のコスト	38,469	107.4	35,832	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	10,753	100.0	10,753	-
	指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	施設のコスト	0	-	0	-
	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	0	-	0	-	
支出合計⑩	49,222	105.7	46,585	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	-	-	-	
28.工事請負費・修繕費	9,848	145.4	6,774	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	176	79.3	222	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	-	0	-	
31.市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	49,046	105.8	46,363	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.1	100	-
32.施設所管課	学校施設課		33.施設主管課	学校施設課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4740	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	住吉南小学校	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上		B		
	B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上				
	C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満				
	D:平均点未満、供給・財務:平均点未満				
品質評価の評価(偏差値)		49.9			
供給評価・財務評価の評価(偏差値)		53.1			
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	41.200 年	41.7	30.600 年
		劣化度数(棟平均)	1.400 件	51.0	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	4.700 点	48.2	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.300 件	53.3	0.700 件
		評価値		49.9	
② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		生徒数	540.000 人	53.9	446.000 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用率	0.011	58.8	0.008
		評価値		56.4	
③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.640 %	43.0	96.243 %
		市負担額(ソフト)前年度比	99.000 %	48.6	96.624 %
		建物1㎡当たりの市負担額	8.705 千円	53.5	10.097 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用率当たりの市負担額	90.826 千円	54.2	214.997 千円
		評価値		49.8	
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	4740	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉南小学校	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	昭和56年に建設された施設のため、老朽化により品質評価が低い。また、収入が少ないことから財務評価も低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】校舎及び屋内運動場の築年数が40年を超えているため。 ②【評価指標】耐震対応(棟平均) 【原因】耐震改修の実施により、すべての校舎・屋体は耐震基準を満たしているが、小規模の倉庫など耐震診断を実施していない建物があるため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比 【原因】光熱水費及び工事請負費・修繕費の額が大きいため。	
5	定性的な要素の分析 (総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が25校、国立大附属小・中学校が各1校、県立高校附属中が1校、私立中学校が6校設置されている。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合には施設名	住吉南小学校給食室、児童クラブ(住吉南小学校)、蓮ヶ池2号街区公園、蓮ヶ池史跡公園、(旧)みやざき歴史文化館、蓮ヶ池街区公園、宮崎市消防団住吉分団第1部消防団車庫	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用途 別分類が同じ)施設 の有無。有の場合 は施設名	宮崎市住吉児童センター、児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、住吉南小学校(給食室)、住吉小学校(給食室)、宮崎市広原児童プール、住吉小学校、住吉中学校、住吉中学校(給食室)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合には 内容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	蓮ヶ池史跡公園の南側に位置し、市道蓮ヶ池金山線の蓮ヶ池史跡公園入口交差点西側。最寄のバス停留所は、「住吉南小学校前」。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2060-2080年代 【建て替えの事業費(概算)】16.3億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	4740	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉南小学校	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が古い建物(棟)もあるが、概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、無駄な電気を使用しないように更なる節電に努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	5250	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	住吉小学校	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	島之内5383	15.設置根拠法令	学校教育法、小学校設置基準		
6.バス停	日大高校(600m)	16.設置条例	宮崎市立学校条例		
7.開設年月日	明治24年5月17日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	明治24年設置。現在の校舎等は、主に昭和43～54年建築の鉄筋コンクリート造3階建である。屋内運動場は、昭和51年建築の鉄骨造平屋建で老朽化が進んでいる。当校は災害時の避難所に指定されている。通学区域には、昔からの住宅団地と近年民間によって宅地分譲された住宅団地、商業地、田畑がある。近年の児童数は減少傾向にある。				
13.主な利用者	児童	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	13.90 m	
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	23,878.33 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人	前年比%	人	前年比%
	生徒数	906	96.2	942	-
	利用率	-	-	-	-
24. 建物情報	総延床面積	6,269.58 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	89830千円 (-)			
	階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1979年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対象外			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		192	81.7	235	-
使用料(減免後)②		1	7.7	13	-
その他③		191	86.0	222	-
《参考》 使用料減免額④		0	-	0	-
指定管理者の収入計⑤		0	-	0	-
指定管理料⑥		0	-	0	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	192	81.7	235	-	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	62,981	120.6	52,239	-
	施設のコスト	46,628	114.3	40,786	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	16,353	142.8	11,453	-
	指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	施設のコスト	0	-	0	-
	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	0	-	0	-	
支出合計⑩	62,981	120.6	52,239	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	-	0	-	
28.工事請負費・修繕費	13,587	139.4	9,748	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	192	81.7	235	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	-	0	-	
31.市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	62,789	120.7	52,004	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.1	100	-
32.施設所管課	学校施設課		33.施設主管課	学校施設課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	5250	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	住吉小学校	4.利用圏域別分類	地域

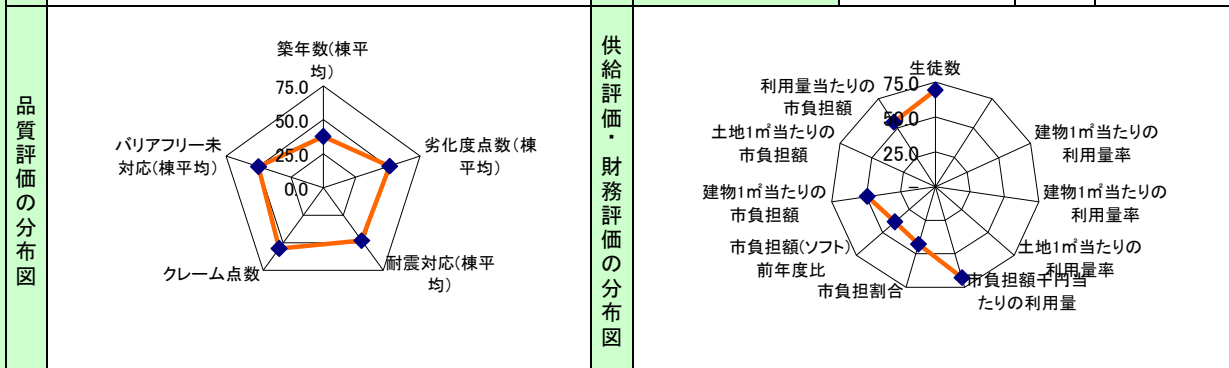
5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	B
	品質評価の評価(偏差値)	48.5
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	57.5

① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	46.100 年	37.8	30.600 年
		劣化度数(棟平均)	1.300 件	51.4	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	4.700 点	48.2	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.700 件	50.0	0.700 件
		評価値		48.5	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		生徒数	906.000 人	69.2	446.000 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用率	0.014	67.8	0.008
		評価値		68.5	

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度比の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.700 %	42.9	96.243 %
		市負担額(ソフト)前年度比	116.400 %	38.3	96.624 %
		建物1㎡当たりの市負担額	10.415 千円	49.2	10.097 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用率当たりの市負担額	69.304 千円	55.0	214.997 千円
		評価値		46.4	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	5250	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉小学校	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	昭和43～54年に建設された施設のため、老朽化により品質評価が低い。また、収入が少ないことから財務評価も低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】校舎及び屋内運動場の築年数が45年を超えているため。 ②【評価指標】耐震対応(棟平均) 【原因】耐震改修の実施により、すべての校舎・屋体は耐震基準を満たしているが、小規模の倉庫など耐震診断を実施していない建物があるため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合、建物1㎡当たり市負担額 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比 【原因】光熱水費及び工事請負費・修繕費の額が大きいため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が25校、国立大附属小・中学校が各1校、県立高校附属中が1校、私立中学校が6校設置されている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	住吉中学校、住吉小学校(給食室)、児童クラブ(住吉小学校)、住吉中学校(給食室)、宮崎市住吉地域センター、住吉地区社会福祉協議会事務所、宮崎市住吉公民館、住吉公園、北宮崎ニュータウン街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市住吉児童センター、児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、住吉南小学校(給食室)、住吉小学校(給食室)、宮崎市広原児童プール、住吉中学校、住吉南小学校	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎日本大学中学校、日章学園中学校	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道219号新名爪交差点から北へ約1.2Kmの東側沿いのところに位置し、最寄のバス停留所は、「住吉学校前」。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2040-2090年代 【建て替えの事業費(概算)】18.2億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	5250	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉小学校	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が古い建物(棟)もあるが、概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、無駄な電気を使用しないように更なる節電に努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	5260	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	住吉中学校	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	島之内7608	15.設置根拠法令	学校教育法、中学校設置基準		
6.バス停	住吉(210m)	16.設置条例	宮崎市立学校条例		
7.開設年月日	昭和22年5月8日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	第一種低層住居専用地域		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	昭和22年設置。現在の校舎等は主に昭和48～61年建築の鉄筋コンクリート造3階建である。屋内運動場は、昭和63年建築の鉄骨造平屋建で令和3年度に大規模改修を行っている。当校は災害時の避難所に指定されている。通学区域には田畑が広がる地域、商業地、民間によって開発された住宅団地がある。近年の生徒数は横ばい傾向となっている。				
13.主な利用者	生徒	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	8.10 m	
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	有		
22. 土地情報	土地面積	25,712.47 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人	前年比%	人	前年比%
	生徒数	658	104.6	629	-
		-	-	-	-
	利用率	-	-	-	-
24. 建物情報	総延床面積	7,108.08 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	- (-)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨			
	建築年(主たる建物)	1988年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		2,081	2.6	79,371	-
使用料(減免後)②		3	-	0	-
その他③		2,078	2.6	79,371	-
《参考》 使用料減免額④		0	-	0	-
指定管理者の収入計⑤		0	-	0	-
指定管理料⑥		0	-	0	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	2,081	2.6	79,371	-	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	56,263	9.2	612,710	-
	施設のコスト	43,610	7.2	601,957	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	12,653	117.7	10,753	-
	指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	施設のコスト	0	-	0	-
	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	0	-	0	-	
支出合計⑩	56,263	9.2	612,710	-	
27.使用料減免割合(%)(④÷(②+④))	0	-	-	-	
28.工事請負費・修繕費	13,851	2.4	570,384	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	2,081	2.6	79,371	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	-	0	-	
31.市負担額⑪(⑧-①+⑥)	54,182	10.2	533,339	-	
市負担割合(%)(⑪÷⑩)	96	110.6	87	-	
32.施設所管課	学校施設課		33.施設主管課	学校施設課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	5260	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	住吉中学校	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上		A		
	B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上				
	C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満				
	D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				
品質評価の評価(偏差値)		50.6			
供給評価・財務評価の評価(偏差値)		57.0			
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	41.200 年	41.7	30.600 年
		劣化度数(棟平均)	0.800 件	53.8	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	4.700 点	48.2	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.200 件	54.2	0.700 件
評価値		50.6			
② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		生徒数	658.000 人	58.9	446.000 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用率	0.012	61.8	0.008
評価値		60.4			
③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	96.300 %	49.9	96.243 %
		市負担額(ソフト)前年度比			
		建物1㎡当たりの市負担額	7.623 千円	56.1	10.097 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用率当たりの市負担額	82.343 千円	54.5	214.997 千円
評価値		53.5			
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	5260	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉中学校	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質・供給・財務ともに平均点以上となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】校舎及び屋内運動場の築年数が35年を超えており、さらに一部の校舎は50年を超えているため。 ②【評価指標】耐震対応(棟平均) 【原因】耐震改修の実施により、すべての校舎・屋体は耐震基準を満たしているが、小規模の倉庫など耐震診断を実施していない建物があるため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が25校、国立大附属小・中学校が各1校、県立高校附属中が1校、私立中学校が6校設置されている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	住吉小学校、住吉小学校(給食室)、児童クラブ(住吉小学校)、住吉中学校(給食室)、宮崎市住吉地域センター、住吉地区社会福祉協議会事務所、宮崎市住吉公民館、宮崎市住吉児童センター、宮崎市消防団住吉分団第6部消防団車庫、住吉公園、永池1号街区公園、永池2号街区公園、住吉北1号街区公園、島之内街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市住吉児童センター、児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、住吉南小学校(給食室)、住吉小学校(給食室)、宮崎市広原児童プール、住吉小学校、住吉南小学校	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎日本大学中学校、日章学園中学校	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号島之内交差点を北東へ約130mのところを位置し、最寄のバス停留所は、「住吉」。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2040-2080年代 【建て替えの事業費(概算)】20.5億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	5260	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉中学校	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が古い建物(棟)もあるが、概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、無駄な電気を使用しないように更なる節電に努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	8520	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	芳士1811	15.設置根拠法令	児童福祉法第34条の8		
6.バス停	蓮ヶ池(670m)	16.設置条例			
7.開設年月日	平成23年3月30日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	就労や病気等により、保護者が放課後に家庭で面倒をみるできない小学生を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、健やかな成長を促すことを目的として、設置された。平成22年度にプレハブを新設した。				
13.主な利用者	小学校に在学する1年生から6年生の放課後児童		20.避難所の指定(標高)	— 14.40 m	
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無	
22. 土地情報	土地面積	127.00 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人	前年比%	人	前年比%
	実人員	969	108.6	892	—
	開館月数	12	100.0	12	—
	利用率	1	110.0	1	—
24. 建物情報	総延床面積	127.00 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	18880千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・SRC・鉄筋鉄骨コンクリート			
	建築年(主たる建物)	2011年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		7,950	73.7	10,785	—
使用料(減免後)②		1,759	104.1	1,690	—
その他③		6,191	68.1	9,095	—
《参考》 使用料減免額④		570	95.3	598	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	7,950	73.7	10,785	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	11,255	70.5	15,974	—
	施設のコスト	78	177.3	44	—
	事業のコスト	10,427	68.7	15,180	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	11,255	70.5	15,974	—	
27.使用料減免割合(%)(④÷(②+④))	24	93.6	26	—	
28.工事請負費・修繕費	40	363.6	11	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	7,950	73.7	10,785	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31.市負担額⑪(⑧-①+⑥)	3,305	63.7	5,189	—	
32.市負担割合(%)(⑪÷⑩)	29	90.4	32	—	
32.施設所管課	生涯学習課		33.施設主管課	生涯学習課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8520	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上		A		
	B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上				
	C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満				
	D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				
品質評価の評価(偏差値)		55.4			
供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.9			
① 品質評価 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	12.000 年	64.6	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	2.000 件	48.1	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値		55.4	
② 供給評価 利用量率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		月あたり人数	81.000 人	49.1	83.000 人
		定員充足率	106.300 %	49.0	107.100 %
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.293	51.5	0.275
評価値		49.9			
③ 財務評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	29.360 %	59.8	31.673 %
		市負担額(ソフト)前年度比	63.100 %	77.6	100.896 %
		建物1㎡当たりの市負担額	26.024 千円	53.1	28.178 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	3.411 千円	56.7	3.972 千円
		評価値		61.8	
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	8520	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	【評価指標A】①建物基礎や外壁のひび割れ、窓・出入口のがたつき等があり、品質の評価が低い。②小学校内に開設している児童クラブのため、在学児童に利用者を限定していることで定員充足率が低くなり、供給の評価が低い。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均) 【原因】建物基礎や外壁のひび割れ、窓・出入口のがたつき等がある。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】月あたり人数【原因】面積の応じて定員が決まっており、平均と比較して定員が少ない。 ②【評価指標】定員充足率【原因】小学校内に開設している児童クラブのため、在学児童に利用者を限定している。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	同じ利用用途の施設(児童クラブ)が市内45小学校区に点在している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	住吉南小学校、住吉南小学校(給食室)、蓮ヶ池街区公園、みやざき歴史文化館、蓮ヶ池史跡公園、蓮ヶ池2号街区公園、宮崎市消防団住吉分団第1部消防団車庫	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	住吉南小学校、住吉南小学校(給食室)	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	市道蓮ヶ池金吹山線沿いにあるバス停住吉南小学校前のすぐ西にある住吉南小学校敷地内に位置している。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】5,000万円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	①包括外部「監査では特に指摘はない。②ほとんどの自治体において、同じ用途の施設があり、行政の負担割合は自治体によって様々である。	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	8520	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、建物の将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、利用者負担金の見直しを検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	品質に評価において、劣化度数(棟平均)の評価は低いが、計画的な保全に取り組む。財務評価において、市負担額(ソフト)前年度比の評価が低いが、利用児童数の増減に応じた職員の適正配置による市負担額であり、市負担額の大幅な見直しは難しい。児童の放課後の居場所を確保する観点からも現サービスの継続を前提として、建物を継続する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的な維持・修繕を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	保護者が就労等のため、放課後に家庭で面倒を見ることができない小学校就学児童に、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を目的として児童クラブを開設している。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	運営費等の見直しを行い、市負担額の削減に努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	8940	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	島之内5383	15.設置根拠法令	児童福祉法第34条の8		
6.バス停	日大高校(460m)	16.設置条例			
7.開設年月日	平成20年8月18日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	就労や病気等により、保護者が放課後に家庭で面倒をみるできない小学生を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、健やかな成長を促すことを目的として、設置された。平成20年度にプレハブを新設した。				
13.主な利用者	小学校に在学する1年生から6年生の放課後児童		20.避難所の指定(標高)	— 13.90 m	
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無	
22. 土地情報	土地面積	105.99 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人	前年比%	人	前年比%
	実人員	859	93.8	916	—
	開館月数	12	100.0	12	—
	利用率	1	91.7	1	—
24. 建物情報	総延床面積	105.99 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・LG・軽量鉄骨			
	建築年(主たる建物)	2008年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		7,646	100.2	7,629	—
使用料(減免後)②		1,455	92.9	1,566	—
その他③		6,191	102.1	6,063	—
《参考》 使用料減免額④		480	88.4	543	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	7,646	100.2	7,629	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	11,255	103.0	10,932	—
	施設のコスト	78	177.3	44	—
	事業のコスト	10,427	102.9	10,138	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	11,255	103.0	10,932	—	
27.使用料減免割合(%)(④÷(②+④))	25	96.3	26	—	
28.工事請負費・修繕費	40	363.6	11	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	7,646	100.2	7,629	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31.市負担額⑪(⑧-①+⑥)	3,609	109.3	3,303	—	
32.市負担割合(%)(⑪÷⑩)	32	106.1	30	—	
32.施設所管課	生涯学習課		33.施設主管課	生涯学習課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8940	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	C				
	品質評価の評価(偏差値)	57.0				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	47.5				
① 品質評価		指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	14.000 年	63.0	30.600 年
			劣化度点数(棟平均)	0.000 件	57.6	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
			評価値		57.0	
② 供給評価	利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
			月あたり人数	72.000 人	45.8	83.000 人
			定員充足率	111.800 %	55.5	107.100 %
			建物1㎡当たりの利用量率			
			建物1㎡当たりの利用量			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.238	47.1	0.275
評価値		49.5				
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
			市負担割合	32.070 %	48.3	31.673 %
			市負担額(ソフト)前年度比	108.400 %	44.5	100.896 %
			建物1㎡当たりの市負担額	34.050 千円	41.5	28.178 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	4.201 千円	47.3	3.972 千円
			評価値		45.4	
品質評価の分布図		供給評価・財務評価の分布図				
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)		供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	8940	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	【評価指標 C】①面積に応じて定員が決まっており、平均と比較して定員が少ないため、月あたり人数が少なくなり供給の評価が低い。②利用児童数に応じて職員配置人数が決まっており、利用児童数が減少し、事業費が減少した児童クラブがあることにより、平均値が低くなり、財務の評価が低い。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】月あたり人数【原因】面積に応じて定員が決まっており、平均と比較して定員が少ない。 ②【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用児童数に応じて職員配置人数が決まっており、利用児童数によっては、平均的な児童クラブと比較して、利用児童1人当たりの人件費が高くなる。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比【原因】利用児童数に応じて職員配置人数が決まっており、利用児童数が減少し、事業費が減少した児童クラブがあることにより平均値が低くなった。 ②【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】児童クラブの定員は面積に応じて決まっているのに加え、利用児童数に応じて職員配置人数が決まっており、利用児童数によっては、平均的な児童クラブと比較して、建物1㎡当たりの人件費が高くなる。	
5	定性的な要素の分析(総括)	同じ利用用途の施設(児童クラブ)が市内45小学校区に点在している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	住吉小学校、住吉小学校(給食室)、北宮崎ニュータウン街区公園、住吉公園、宮崎市住吉公民館、住吉地区社会福祉協議会事務所、住吉地域センター、宮崎市住吉児童センター、住吉中学校、住吉中学校(給食室)	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	住吉小学校、住吉小学校(給食室)、宮崎市住吉児童センター、住吉中学校、住吉中学校(給食室)	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道219線沿いにあるバス停住吉小学校前のすぐ東にある住吉小学校敷地内に位置している。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】4,000万円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	①包括外部「監査では特に指摘はない。②ほとんどの自治体において、同じ用途の施設があり、行政の負担割合は自治体によって様々である。	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	8940	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、建物の将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、利用者負担金の見直しを検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	供給評価において、月あたり人数等の評価が低いが、面積に応じて定員が決まっており、平均と比較して定員が少ないためである。財務評価において、市負担額(ソフト)前年比等の評価は低いが、利用指導数の増減に応じた職員の適正配置による市負担額であり、市負担額の大幅な見直しは難しい。品質評価は平均店以上であり、児童の放課後の居場所を確保する観点からも現サービスの継続を前提として、建物を継続する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的な維持・修繕を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	保護者が就労等のため、放課後に家庭で面倒を見ることができない小学校就学児童に、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を目的として児童クラブを開設している。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	運営費等の見直しを行い、市負担額の削減に努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	9080	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	住吉南小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	芳士1811	15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法		
6.バス停	蓮ヶ池(730m)	16.設置条例			
7.開設年月日	昭和56年3月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用	19. 内部			
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	学校給食法第1条				
13.主な利用者	児童生徒、調理員	20.避難所の指定(標高)	— 14.40 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	24,590.00 m ²		総延床面積	195.00 m ²
	現況地目	学校用地		取得価額計(開始時簿価計)	28950千円 (—)
	土地所有形態	所有		階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート
	借受面積	0.00 m ²		建築年(主たる建物)	1981年
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	579	92.3	627	—
	開館日数	193	98.5	196	—
利用量率	3	93.8	3	—	
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	46,773	132.6	35,276	—
	施設のコスト	11,985	207.9	5,765	—
	事業のコスト	1,589	123.7	1,285	—
	人に係るコスト	33,199	117.6	28,226	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	46,773	132.6	35,276	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	732	255.9	286	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	
31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	46,773	132.6	35,276	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—	
32.施設所管課	保健給食課		33.施設主管課	保健給食課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9080	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	住吉南小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域

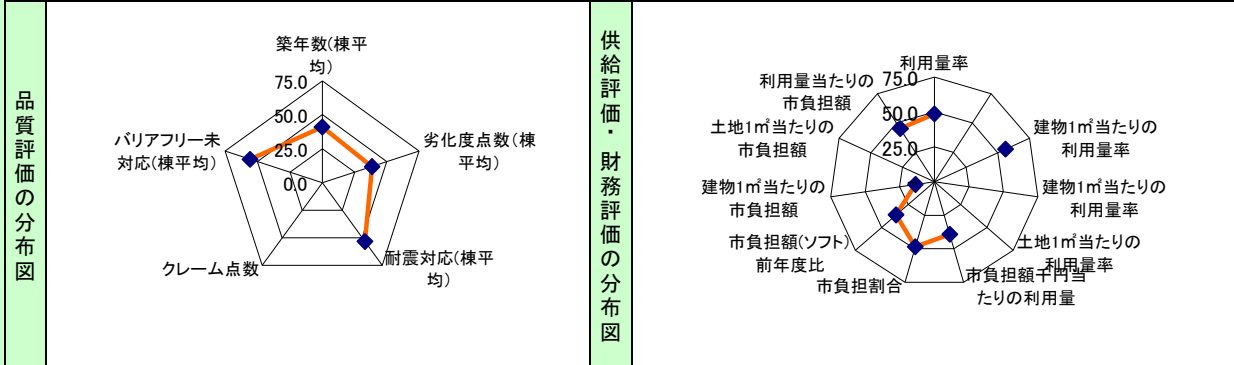
5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	D
	品質評価の評価(偏差値)	47.2
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	42.0

① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	42.000 年	41.0	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	4.000 件	38.6	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数			
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値	47.2		

② 供給評価 利用率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		利用率	3.000 人・食	48.6	3.000 人・食
		建物1㎡当たりの利用率	0.015 人	56.0	0.012 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.012	39.3	0.023
		評価値	48.0		

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がきわめて低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.000 %	48.6	100.000 %
		市負担額(ソフト)前年度比	131.600 %	36.3	108.698 %
		建物1㎡当たりの市負担額	239.862 千円	13.7	100.083 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	80.782 千円	45.1	58.632 千円
		評価値	35.9		



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	9080	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉南小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	基礎評価では平均を下回っている項目があり、特に築年数や経年劣化により品質評価が平均を下回っている。調理洗浄業務が直営の施設であるため、供給評価や財務評価についても平均を下回る。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均)【原因】昭和56年建築 ②【評価指標】劣化度数(棟平均)【原因】外壁や天井、床等の部分的な修繕は影響が大きい劣化からスポット的に対応している	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】利用率 【原因】食数が平均より少ないため ③【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】大型厨房機器の一部更新のため	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】直営の施設である	
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小中学校に単独調理場が45場(45校)、給食センターが5センター(27校配送)が設置されている。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	住吉南小学校、児童クラブ(住吉南小学校)、蓮ヶ池2号街区公園、蓮ヶ池史跡公園、宮崎歴史文化館、蓮ヶ池街区公園、宮崎市消防団住吉分団第1部消防団倉庫	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市住吉地域センター、宮崎市住吉老人いこいの家、宮崎市住吉児童センター、児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市住吉公民館、住吉南小学校、住吉小学校(給食室)、宮崎市広原児童プール、住吉小学校、住吉中学校ほか1施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎日本大学中学校、日章学園中学校	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	炊き出し予定施設	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	蓮ヶ池史跡公園の南側に位置し、市道蓮ヶ池金山線の蓮ヶ池史跡公園入口交差点西側。最寄のバス停留所は、旧国道10号線沿い「蓮ヶ池」。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】0.5億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘事項なし。	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	9080	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉南小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また「質の向上」の取り組みとして、学校給食調理等業務の民間委託を進めることにより、安全で効率的な給食調理等業務の実施と経費の削減を図る。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点を下回っているが、施設使用に問題はなく、現サービスを継続し、計画的な維持補修を行う。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	直営の施設であるため供給・財務は平均を下回っている項目があるが、当該地域においては、教育・防災機能の一端を担う重要な施設であることから、今後は効率的な経営の実現に努めながら本施設での学校給食機能を継続する。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	調理業務等の民間委託を行い、効率的な運営と経費の節減に努める。	

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	9440	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	住吉小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	島之内5383	15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法		
6.バス停	日大高校(540m)	16.設置条例			
7.開設年月日	昭和57年3月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	学校給食法第1条。平成24年度から調理等は、民間に委託。	19. 内部			
					
13.主な利用者	児童生徒、調理員	20.避難所の指定(標高)	— 13.90 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	232.00 m ²		24. 建物情報	
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	973	96.4	1,009	—
	開館日数	194	99.0	196	—
利用率	5	98.0	5	—	
	総延床面積	232.00 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	23100千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1982年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	27,211	113.7	23,934	—
	施設のコスト	10,734	144.2	7,444	—
	事業のコスト	15,666	99.7	15,708	—
	人に係るコスト	811	103.7	782	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	27,211	113.7	23,934	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	1,613	3226.0	50	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	27,211	113.7	23,934	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—	
32.施設所管課	保健給食課		33.施設主管課	保健給食課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9440	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	住吉小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域

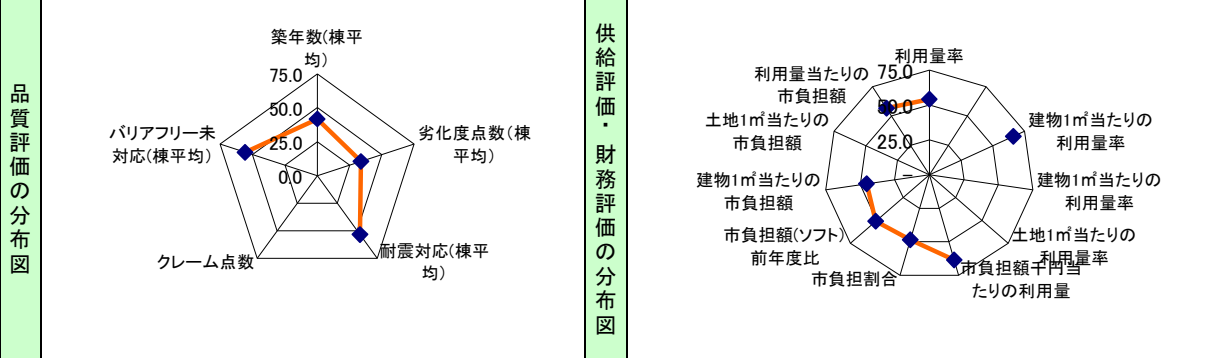
5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上	B
	B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上	
	C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満	
	D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	
	品質評価の評価(偏差値)	46.2
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	55.9

① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	41.000 年	41.8	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	5.000 件	33.8	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数			
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値		46.2	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		利用率	5.000 人・食	54.2	3.000 人・食
		建物1㎡当たりの利用率	0.022 人	66.2	0.012 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用率	0.036	63.6	0.023
		評価値		61.3	

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.000 %	48.6	100.000 %
		市負担額(ソフト)前年度比	107.200 %	50.9	108.698 %
		建物1㎡当たりの市負担額	117.289 千円	45.5	100.083 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用率当たりの市負担額	27.966 千円	56.7	58.632 千円
		評価値		50.4	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	9440	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	基礎評価では平均を下回っている項目があり、特に築年数や経年劣化により品質評価が平均を下回っている。調理洗浄業務の民間委託を既に行っており効率的な運営を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均)【原因】昭和57年建築 ②【評価指標】劣化度数(棟平均)【原因】外壁や天井、床等の部分的な修繕は影響が大きい劣化からスポット的に対応している	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合の評価 【原因】大型厨房機器の一部更新 ②【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】大型厨房機器の一部更新	
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小中学校に単独調理場が45場(45校)、給食センターが5センター(27校配送)が設置されている。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	住吉小学校、児童クラブ(住吉小学校)、住吉中学校、住吉中学校(給食室)、宮崎市住吉地域センター、住吉地区社会福祉協議会事務所、宮崎市住吉公民館、住吉公園、北宮崎ニュータウン街区公園	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市住吉地域センター、宮崎市住吉老人いこいの家、宮崎市住吉児童センター、児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市住吉公民館、住吉南小学校(給食室)、住吉小学校、宮崎市広原児童プール、住吉南小学校、住吉中学校ほか1施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎日本大学中央校、日章学園中学校	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	炊き出し予定施設	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道219号新名爪交差点から北へ約1.2kmの東側沿いのところに位置し、最寄のバス停留所は、「住吉小学校前」	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】0.6億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘事項なし。	

(2) 施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	9440	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また「質の向上」の取り組みとして、学校給食調理等業務の民間委託により、安全で効率的な給食調理等業務の実施と経費の削減を図る。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点を下回っている項目もあるが、施設使用に問題はなく、現サービスを継続し、計画的な維持補修を行う。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	調理洗浄業務の民間委託を既にも実施しており効率的な経営を行っている。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	調理業務等の民間委託を継続し、効率的な運営と経費の節減に努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	9450	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	住吉中学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	島之内7608	15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法		
6.バス停	住吉(270m)	16.設置条例			
7.開設年月日	平成16年12月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	第一種低層住居専用地域				
11.財産区分	公共用	19. 内部			
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	学校給食法第1条。平成20年度から調理等は、民間に委託。				
13.主な利用者	児童生徒、調理員	20.避難所の指定(標高)	— 8.10 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	25,711.89 m ²		総延床面積	243.00 m ²
	現況地目	学校用地		取得価額計(開始時簿価計)	54600千円 (—)
	土地所有形態	所有		階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート
	借受面積	0.00 m ²		建築年(主たる建物)	2004年
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	713	104.7	681	—
	開館日数	195	99.5	196	—
利用率	4	105.7	4	—	
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	21,582	108.3	19,923	—
	施設のコスト	4,308	171.6	2,511	—
	事業のコスト	14,459	98.9	14,626	—
	人に係るコスト	2,815	101.0	2,786	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	21,582	108.3	19,923	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	969	226.4	428	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	21,582	108.3	19,923	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	保健給食課		33.施設主管課	保健給食課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9450	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	住吉中学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域

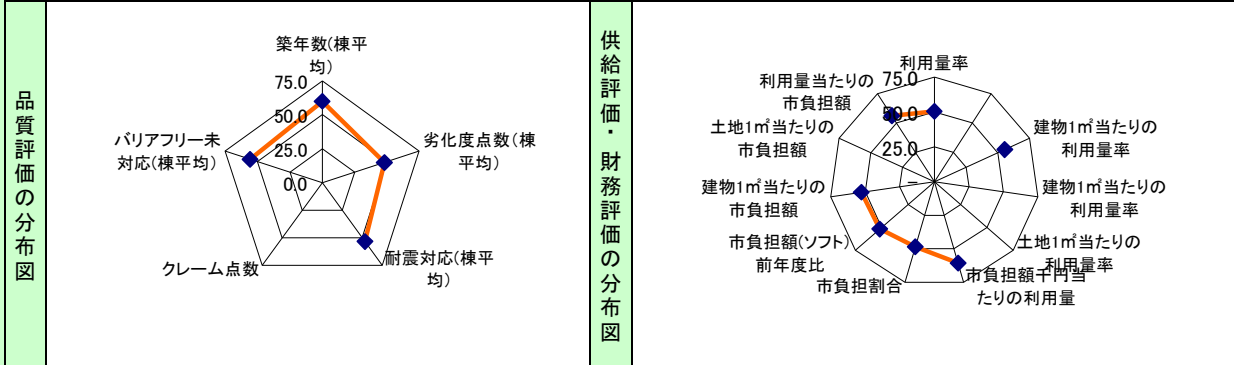
5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	A
	品質評価の評価(偏差値)	54.3
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	54.0

①品質評価 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	18.000 年	59.9	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	2.000 件	48.1	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数			
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値		54.3	

②供給評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		利用率	4.000 人・食	50.4	3.000 人・食
		建物1㎡当たりの利用率	0.015 人	55.5	0.012 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用率	0.033	60.8	0.023
		評価値		55.6	

③財務評価 市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.000 %	48.6	100.000 %
		市負担額(ソフト)前年度比	105.700 %	51.8	108.698 %
		建物1㎡当たりの市負担額	88.815 千円	52.9	100.083 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用率当たりの市負担額	30.269 千円	56.2	58.632 千円
		評価値		52.4	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	9450	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉中学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	基礎評価では平均を下回っている項目もあるが、評価値では平均を上回っている。また調理洗浄業務の民間委託を既に実施しており効率的な運営を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均)【原因】外壁や天井、床等の部分的な修繕は影響が大きい劣化からスポット的に対応している	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】大型厨房機器の一部更新	
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小中学校に単独調理場が45場(45校)、給食センターが5センター(27校配送)が設置されている。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	住吉小学校、住吉小学校(給食室)、児童クラブ(住吉小学校)、住吉中学校、宮崎市住吉地域センター、住吉地区社会福祉協議会事務所、宮崎市住吉公民館、宮崎市住吉児童センター、宮崎市消防団住吉分団第6部消防団車庫、住吉公園、永池1号街区公園、永池2号街区公園、住吉北1号街区公園、島之内街区公園	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市住吉地域センター、宮崎市住吉老人いこいの家、宮崎市住吉児童センター、児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市住吉公民館、住吉南小学校(給食室)、住吉小学校(給食室)、住吉中学校、宮崎市広原児童プール、住吉小学校ほか1施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	炊き出し予定施設	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道10号島之内交差点を北東へ約130mのところ positionし、最寄のバス停留所は、「住吉」	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】22,000人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】0.7億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘事項なし。	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	9450	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	住吉中学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また「質の向上」の取り組みとして、学校給食調理等業務の民間委託により、安全で効率的な給食調理等業務の実施と経費の削減を図る。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価では平均点を下回っている項目もあるが、施設使用に問題はなく、現サービスを継続し、計画的な維持補修を行う。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	調理洗浄業務の民間委託を既にも実施しており効率的な経営を行っている。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	調理業務等の民間委託を継続し、効率的な運営と経費の節減に努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	9850	3.利用用途別分類	図書館・展示施設		
2.施設名	旧みやざき歴史文化館	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	芳士2258-3	15.設置根拠法令			
6.バス停	蓮ヶ池(480m)	16.設置条例			
7.開設年月日	平成04年7月25日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者((公財)宮崎文化振興協会)	18. 外観			
9.指定管理期間	令和05年4月1日～令和10年3月31日				
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用	19. 内部			
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	21世紀を担う子供たちに郷土の歴史、伝統文化、神話などに接する機会と場所を提供するため、市制60周年記念事業の一つとして、国指定史跡蓮ヶ池横穴群のある蓮ヶ池史跡公園内に設置した。歴史資料館再配置計画により令和2年3月末に閉館した。				
13.主な利用者	市職員等	20.避難所の指定(標高)	— 20.20 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	1,322.60 m ²		24.建物情報	
	現況地目	公園		総延床面積	2,308.84 m ²
	土地所有形態	所有		取得価額計(開始時簿価計)	701258千円 (—)
	借受面積	0.00 m ²		階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	—	—	—	—
	開館日数	—	—	—	—
利用量率	—	—	—	—	
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	2	8.0	25	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	2	8.0	25	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	2	8.0	25	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	14,338	23.6	60,650	—
	施設のコスト	10,588	18.6	56,900	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	3,750	100.0	3,750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	14,338	23.6	60,650	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	600	1.2	48,499	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	2	8.0	25	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	
31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	14,336	23.6	60,625	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—	
32.施設所管課	文化財課	33.施設主管課	文化財課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9850	3.利用用途別分類	図書館・展示施設
2.施設名	旧みやざき歴史文化館	4.利用圏域別分類	広域・市域

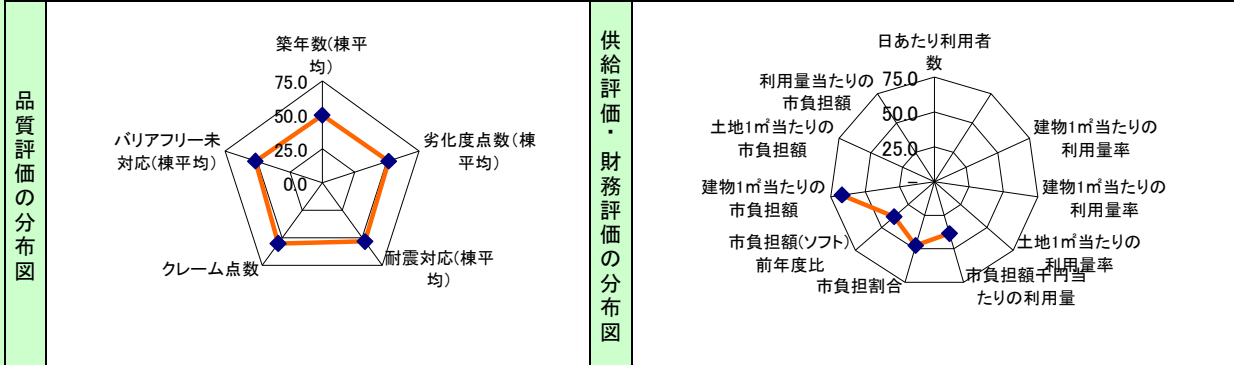
5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	C
	品質評価の評価(偏差値)	52.3
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	44.8

①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	31.000 年	49.7	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	1.300 件	51.4	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.500 件	51.7	0.700 件
		評価値		52.3	

②供給評価 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数			
		建物1㎡当たりの利用率			
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.000	38.7	0.739
		評価値		38.7	

③財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.990 %	47.6	96.686 %
		市負担額(ソフト)前年度比	113.300 %	38.2	101.470 %
		建物1㎡当たりの市負担額	6.209 千円	66.8	26.834 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額			
		評価値		50.9	



品質評価(横)／供給・財務評価(縦)	供給評価(横)／財務評価(縦)
--------------------	-----------------

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	9850	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	旧みやざき歴史文化館	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	令和2年度から閉館し文化財の收藏機能のみとなり一般利用が無くなったため、供給・財務の評価が低くなっている。品質については、築年数が30年以上経過しているものの、ほぼ平均点の評価となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】建築年数 【原因】平成4年建築でRC造躯体の耐用年数は50年から60年とされているためであると分析する。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】閉館に伴い、施設の設置目的が異なり、文化財の收藏機能の維持管理のみのため市負担割合の評価が低くなっているものと考ええる。 【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比 【原因】閉館に伴い、施設の設置目的が異なり、文化財の收藏機能の維持管理のみのため市負担割合の評価が低くなっているものと考ええる。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	当該施設は、市で所蔵する文化財を適切に保存する役割を担っている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	蓮ヶ池史跡公園、住吉南小学校、児童クラブ(住吉南小学校)、蓮ヶ池街区公園、蓮ヶ池第2街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、宮崎市安井息軒記念館、宮崎市生目の杜遊 古館、みやざきアートセンター、大淀川学習館、宮崎科学技術館、宮崎市立図書館、佐土原総合文化セン ター(佐土原図書館)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎県総合博物館、宮崎県埋蔵文化財センター、宮崎県立図書館、宮崎県立美術館	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線北バイパスから旧10号線に入って約500m南に位置するが、駐車場まではさらに1km迂回しな ければならない。旧10号線沿いに「蓮ヶ池」バス停があり、徒歩10分で施設に行ける。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】10億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では特に指摘はない。当該施設は蓮ヶ池史跡公園内にあり、平成元年度に着工し平成4年に 完成した。なお、蓮ヶ池史跡公園は市制施行60周年記念事業として昭和59年度から平成4年度で整備さ れた。	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	9850	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	旧みやざき歴史文化館	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	令和2年度の閉館後は、収蔵機能として活用するため、建物の評価(案)は「改修・更新」、機能の評価(案)は、「統合」とする。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	改修・更新	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点以上であるが、築30年を超えており、空調設備は建物診断においても要改修と判断されている。また令和2年度から閉館に伴い、収蔵のみの機能とするため、空きスペースに文化財資料を保管する棚を設置するなど、当施設を収蔵施設として改修する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	-	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	統合・集約	
19	機能の評価(案)の理由	佐土原歴史資料館や天ヶ城歴史民俗資料館の収蔵施設も建設から約30年経過し、経年劣化が進んでおり、それらの施設の改修費用を抑えるためにも、収蔵機能を当施設に統合する。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	当該施設は令和5年度から指定管理者制度を活用し、指定管理者による管理運営を行っている。また、佐土原歴史資料館や天ヶ城歴史民俗資料館の収蔵機能を当施設と「統合・集約」することで、管理運営経費を削減する。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	1620	3.利用用途別分類	消防施設		
2.施設名	宮崎市北消防署住吉救急出張所	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	芳士62-2	15.設置根拠法令	消防組織法		
6.バス停	北高校(720m)	16.設置条例	宮崎市消防署組織規程		
7.開設年月日	平成19年3月1日	17.市の計画			
8.施設運営形態(指定管理者)		18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公用	19. 内部			
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	主に芳士地区、池内地区の住民の生命・身体・財産を守るため、消防・救助活動の拠点として設置した。				
13.主な利用者	市民及び消防局職員	20.避難所の指定(標高)	— 10.90 m		
14.利用者駐車可能台数	5台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	1,930.00 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		—	前年比%	—	前年比%
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
24. 建物情報	総延床面積	525.63 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	111166千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	2007年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
借受面積	0.00 m ²				
耐震対応(主たる建物)	対応済				
未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	44	107.3	41	—
	使用料(減免後)②	16	—	0	—
	その他③	28	68.3	41	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	44	107.3	41	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	—	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	44	107.3	41	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	77,941	101.3	76,918	—
	施設のコスト	2,166	112.9	1,918	—
	事業のコスト	775	—	0	—
	人に係るコスト	75,000	100.0	75,000	—
指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—	
施設のコスト	0	—	0	—	
自主事業以外のコスト	0	—	0	—	
自主事業のコスト	0	—	0	—	
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	77,941	101.3	76,918	—	
28.工事請負費・修繕費	264	—	0	—	
31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	77,897	101.3	76,877	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—	
32.施設所管課	消防局・総務課	33.施設主管課	消防局・総務課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	1620	3.利用用途別分類	消防施設
2.施設名	宮崎市北消防署住吉救急出張所	4.利用圏域別分類	広域・市域

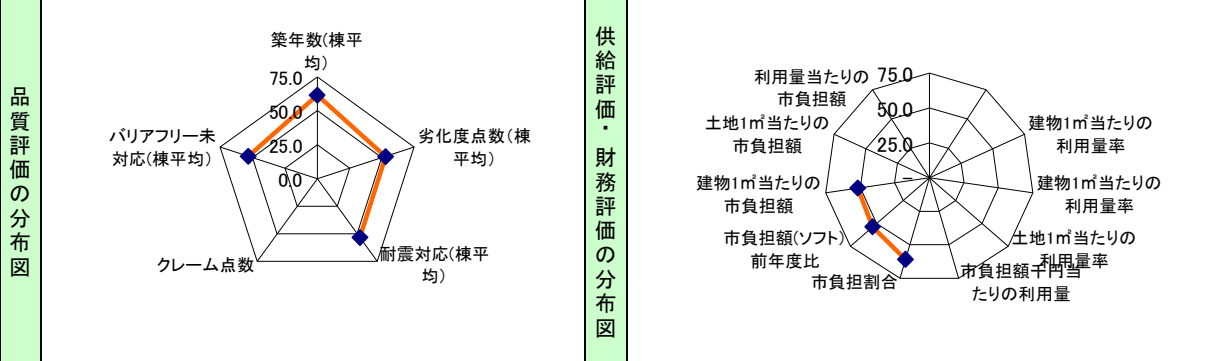
5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	A
	品質評価の評価(偏差値)	55.3
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	55.5

① 品質評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	16.000 年	61.5	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	1.000 件	52.9	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数			
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.300 件	53.3	0.700 件
		評価値		55.3	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量			
		評価値		-	

③ 財務評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.940 %	60.9	99.964 %
		市負担額(ソフト)前年度比	101.000 %	53.7	102.042 %
		建物1㎡当たりの市負担額	148.197 千円	51.9	167.140 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額			
		評価値		55.5	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	1620	利用用途別分類	消防施設
施設名	宮崎市北消防署住吉救急出張所	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	評価指標はA判定であった。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	①【評価指標】市負担割合 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】消防施設であるため、施設の使用料収入がないことから低くなっている。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	主に市の中心北部を管轄する救急出張所であり、消防ポンプ自動車は配備していない。また、消防組織法及び宮崎市消防署組織規程により、市内に同じ利用用途の消防出張所が配置されている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎みたま園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市消防庁舎(消防局・北消防署)、北部出張所、西部出張所、東分署、南消防署、中部出張所、南部出張所、青島出張所	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	消防施設	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	主要地方道宮崎西環状線沿いにあり、施設の前にバス停留所が設置されているなど、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】2億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では特に指摘なし。	

(2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	1620	利用用途別分類	消防施設
施設名	宮崎市北消防署住吉救急出張所	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)及び機能の評価(案)は継続とする。 「総量の最適化」の取組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	消防施設であるため、施設の移転は難しいことから、計画的な保全に取り組み施設を維持する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的な修繕を行うことにより、大規模な修繕更新費の削減に努める。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	消防施設という性質上、機能の廃止・統合は出来ないため、「継続」とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	消防団員のみ使用する施設であり、訓練時や災害時のみ使用するため、現状維持とする。	